

## - ファイナルレポート -

### 『interzum 2007 ケルン国際家具産業・木材加工専門見本市』ケルン

会期：2007年5月9日（水）～12日（土）

ドイツ連邦共和国ケルン市 ケルンメッセ会場

#### 新コンセプトの成功：

**インターツム ケルン国際家具産業・木工加工見本市、  
国際色豊かな、業界をリードする見本市として再確認**

#### 一体感ある展示と百花繚乱のイノベーション展示で印象づける

熱心な出展者と来場者、活発な商談取引、多くのイノベーション。それらが今年のインターツムの特徴であり、これによって各展示ホールは、会期中 良い雰囲気につつまれた。「インターツムは、業界をリードする見本市として、そのポジションを強化し、ゆるぎないものにしました。」とケルンメッセのヴォルフガング・クランツ副社長は総括した。クランツ副社長はさらに、「インターツムは、業界が団結して目的に向かって行動し、この業界をリードする見本市を熱心に作り上げたことで、各企業の業績を向上できるという事を、印象深い形で証明した。」と続けた。この点については、インターツムの専門委員会会長であり、ユリウス・ブルーム社社長のフーベルト・シュヴァルツ氏も同意している。「我々がインターツムにかけた大きな期待が、完全に具現化された。国際性の高い見本市としてだけでなく、特にドイツ国内からの来場者数にも満足できました。全体として、今年のインターツムは素晴らしかったです。」

インターツムは今年初めて、ケルン見本市会場の北ホールを使って開催された。「展示会場の移転が、重要かつ正しいステップであったことは確実です。新しい展示会場は、大規模であるにも関

ならず、光溢れ、多くの人を招き入れ、会場中央を突き抜ける、中央通り“Boulevard”はこの見本市を生まれ変えさせました。」と、ある出展者はインターツムの会場の雰囲気賞賛している。特に来場者には、まとまりの良い新しい会場のレイアウトが好評であった。ある外国からの業界関係者は、「目的地までの距離が格段に短くなり、より効率的に見本市を見る事が可能となりました。」と述べている。さらに、会期を短縮し、曜日を変えて、水曜から土曜までとした事も歓迎された。

参加企業数は 61 カ国 1361 社(5%増)で、面積が前回より 10%増えた展示会場で、金具類、表面材、木工材料、自然素材、クッション材や機械などが展示された。このうち約 75%は、外国(ドイツ国外)からの企業であった。137 カ国から約 5 万人の来場者があったこの見本市は、

来場者の面でも更に国際色豊かになったと言える。また、ドイツ国内からの来場者の数が再び増加した。「ドイツの家具産業は開催国の強みを活かし、世界のトレンド情報を詳しく広範に伝える事ができました。

このことから、業界をリードする見本市を作るというコンセプトが立証されたと思います。」と、ケルンメッセのウド・トレーガー、リビング・インテリア・テキスタイル部長は述べている。

国の内外から訪れた業界関係者及びバイヤーは、各メーカーが展示した家具産業サプライヤーとしての技術革新力に非常に満足し、多くの巧み且つ新しいソリューションに嬉しさを表わしていた。「インターツムは非常に印象深いものでした。すばらしい見本市で、出展企業は魅力的で個性的な展示を行い、アイデア源として非常に興味深いヒントを得ることができました。」と、あるドイツの大手キッチンメーカーのマーケティング部長は語っている。

出展企業が技術革新力を見せたのに対し、もう一方で関心をひいたのは、展示ホールの中央で行われたトレンドショーと講演フォーラムだった。ここでは様々な分野の専門家によって、今この業界においての重要なテーマに関して討議がされた。またインターツムの会期中実施された様々なイベントも、大きな関心呼んだ。今回は「タピ・シンポジウム」、「VHI イノベーション会議」、「第 11 回ヨーロッパ化粧板会議」の三つのプレミアムイベントが開催された。また、インターツムが建築家にとってますます興味深いものになっている事は、メッセの 4 日目に行われたノルトライン・ヴェストファーレン州建築家協会の「インテリアデザイナー会議」に、強い関心が寄せられた事でも表れている。

### インターツムアワードにおける、未来志向のイノベーション

ケルンメッセはレッド・ドット社との協賛により、この業界における優れたイノベーションに対して、今年4回目となる「インターツムアワード： 素材イノベーションとデザイン賞」が授与された。全部で51の製品が著名な審査員によって選ばれ、インターツム期間中、特別展で展示された。

### インターツムのトレンド

部品や材料などのサプライ分野におけるデザインの重要性が増し、技術革新や最適な機能と一体化。

ますます工夫が進む金具類で最も重要なのは、便利さと使いやすさの向上。

洗練された引出しシステムで収納を最適化、隅々まできちんと整頓。

静かに閉まるクローザーは標準となり、引き出しは魔法のように音もなく閉まる。上部の棚の折れ戸も、圧縮空気システムで開閉が容易に。

多様性と豊富なバリエーションで納得の装飾。トレンドはストラクチャーを表現した表面加工、花柄模様、ファンタジー・モチーフ。

--化粧板の分野はより多様化。これまで注目されなかった種類の木材が、より多く家具分野で使用される - 個性化のトレンド。

照明は、良いデザインにはますます欠かせない要素に。特に LED 光源は、家具製造およびエモーショナルな空間デザインに、新しい刺激をもたらす。

軽量パネル - 多くは内部が段ボール - は、市場に出せる製品として完成。非常に堅牢でしかも軽量。これにより、木材資源を保護し、新しい家具の形のスタンダードを創る事が可能に。

マットレスのカバーは、通気性に優れ、汚れを寄せ付けない繊維が流行の兆し。マットレスカバーの多くは、取り外しや洗濯が可能。

世界の家具部品や材料の業界で、省エネ・省資源タイプの機械がますます標準に。

2007年のインターツムに関する最新の画像と、詳しい情報、ハイライトやイノベーションのトレンドをまとめた「2007年インターツム・ヒットガイド」は、インターツムのホームページ [www.interzum.de/presseinformationen](http://www.interzum.de/presseinformationen) からダウンロードが可能。

次回のインターツム 2009年 は  
2009年の5月13日から16日まで

**【お問い合わせ先】**

**ケルン・メッセ 株式会社**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-13-1 虎ノ門40MTビル9F

TEL: 03-5405-2202 FAX: 03-5405-2203

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp